

◆ 優しい心のリレー ◆



校長室でパソコンに向かっている時だ。右側の窓のあたりで何やら“動き”を感じた。さて、なんだろう？視線を右に転じて、普段どおりの中庭が見えるだけ…。

しばらくすると、再びまた動きが…。

今度は立ち上がって窓の近くに立ってみた。

校長室の前、校舎と中庭に挟まれて樹木が植えられているわずかばかりの敷地を、うずくまり注意深く見守る3年生の女子生徒さんを発見。

どうしたのだろうと思い外に出てみると、今度はもう一人、男子生徒さんも加わり、何やら注意深く見守っている。

話を聞いてみると、クラスのベランダでコスモスを育てているのだけれど、手狭なベランダでは全ての種を蒔くことができなかったで、この蒔くことができなかった種をどうしようかと学校用務員さんに相談したところ、校長室の前がいいでしょう、ということで蒔いてくれた、とのこと。その後も気になっているらしく、時々見に来ていたようだ。

本校は、[中学校説明会](#)の記事でも紹介したように、校舎のいたるところに「優しさ」があふれている。このクラスのようにベランダで植物を育てているクラスは、7月15日付け[メッセージ](#)でも触れたように数多くある。つい先日（その日は期末テストで、きっとそれどころではなかっただろうけれど）も、女子生徒さんが、私に「気をつけて帰ってください」と声をかけてくれた。

学校用務員さんへの、日頃の感謝の気持ちを込めた[メッセージ](#)を先日紹介したばかりだけれど、今回のエピソードを聞くと、本校の「優しさ」の秘密が少しだけわかったような気がした。一つの「優しさ」が、その一つだけにとどまらず大きく連鎖していく、そんな出来事が（知らない間に）きっと数多く生まれているんだろうな。

少し残念だけれど、このところの通り雨や強風で散ってしまった花びらがある。コスモスは丈夫な花だと聞いたことがある。どうか再びきれいな花を咲かせて欲しい。その時はまた、いろいろお話を聞かせてください、Mさん、M君。あなたたちの夢が叶うことを願っています…。